寄稿（地域協会会長②）

西湘日中友好協会 会長　池田六美

3年後に創立50周年を迎える西湘日中友好協会は、長い歴史と伝統、活動経験を持っております。会員は多い時では100名を超えていましたが、現在は50名弱となっております。

一昨年は45周年記念行事を盛大に開催しました。小田原箱根商工会議所会頭を講師に迎えた講演会や、中国伝統芸能である変面や太極拳などのアトラクションで会場は大いに盛り上がりました。レセプションでは中国大使館員をはじめ、県日中会長、国会議員、県議会議員など多くの皆さんにご参加をいただきました。

来たる50周年では「未来へつなぐ友好交流」の記念塔を立てられるよう、現在、理事の皆さんにもご参加いただき、準備のための実行委員会を設置し、鋭意検討を進めています。

会員の確保策ですが、当協会では協会規約を改正するなど、出来るだけ多くの方に会員になっていただくよう取組んでいます。

今後の目標ですが、①河南省安陽市との友好姉妹都市交流②青少年書画展の継続③安陽市との経済交流④書道を通した文化交流などが挙げられますが、実現可能な企画から進めています。

最後に、平成27年度の主な活動をご紹介します。①会員・連携団体による新春の集い②国際交流「地球市民フェスタ」への参加（手作り餃子の実演・販売など）③来日した中国の中学生、高校生を招いた日中友好の集い「西湘日中ティーサロン」の開催④北条五代祭り武者隊15名の参加⑤旭丘高校と連携した中国の生徒のホームステイ受入れ⑥安陽市からの訪問団受入れなどです。

平成27年度第2回経営強化部会の開催

3月9日（水）、当協会の平成27年度第2回経営強化部会が神奈川新聞社会議室で開催された。

この部会は、協会の厳しい財政状況に鑑み、健全財政の確保と円滑な事業遂行を図ることを目的として設置された組織で、部会長には寺尾巖協会副会長、部会員には並木裕之会長など7名がメンバーとなっている。

当日は寺尾部会長が欠席のため、岩和志副部会長が議長に選出された。

議事では、高校生の訪中に伴う寄付金と本会報誌の名刺広告の募集結果や、この1年間の新規会員の状況、新年度の経営強化策が話し合われた。

特に、部会員の尽力により、法人会員として地元の大手銀行や学校法人、商工会議所が新会員となったことや、個人会員の増加があったことなどが報告され、引き続きの勧誘等の努力を確認し合った。

また、新年度からは県の補助金が廃止されることに伴い、その補てん策として、各種団体の賛助金の活用や事業収入の増額策などが話し合われた。

経営強化部会

青年学生部会　チャイ華

日中友好Cafeタイム開催

3月5日(土)午後、チャイ華（高橋堅次会長）は日中友好カフェタイムと称し、交流会を催しました。

はじめに、参加者一緒に簡単な軽食を作り、それを頂きながら会話をしました。会話は、日本人と中国人混合の4グループにて、それぞれ前半を日本語を用い、後半は中国語を用い行ないました。スタッフとしては、念のためトーク題目を少しは用意して行ったのですが、不要だったほど、皆さん会話がはずみ、和気藹々と楽しい会となりました。（吉野）